

検査員 (技術職)

ある1日

Schedule

9:00

業務開始

検査の現地研修のため、先輩について事業場へ出発します

今日は職場から近いため、徒歩で向かいます

検査員になるためには、ボイラーの検査実習を200件修了しなければなりません
検査員の役割はとても重要で、一朝一夕では身につけません



リュックには検査の道具が入ってます

9:30

事業場に到着

今日は某熱供給会社に設置の「炉筒煙管ボイラー」の性能検査です

毎回、多様なボイラーや圧力容器に出会います
座学研修で学んだことを、実践でしっかり身につけていきます



検査服に着替えると身が引き締まります

9:45

ボイラー設置場所へ移動 検査開始

現場担当者（取扱作業主任者）、整備業者の方へ挨拶

検査前にボイラー等の状況について情報を収集します

指導する先輩だけでなく、事業場の方などからもたくさんのことを学びます

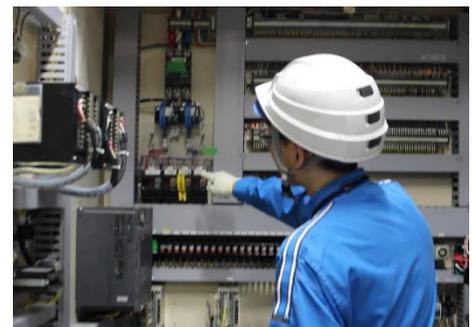
現場の方とのコミュニケーションが大切です

性能検査が安全に実施できるよう、制御盤の電源がOFFであることを確認します

指導員のチェックを受けながら、検査基準に従って、1つ1つしっかり確認していきます



「本日はよろしくお願いします！」



電源OFF 安全確認

検査実習 の様子

Inspection

本体(水側)の検査

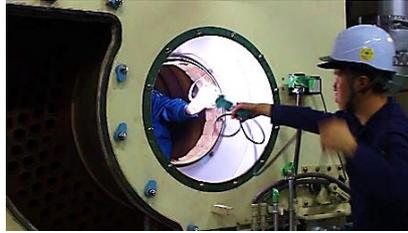
ボイラー上部にあるマンホールから水側内部に入ります

非常に狭いので、体の柔軟性が要求されます

割れや腐食がないか、隅々までハンマーによる打診や目視で、異常の有無の確認します



燃焼室の検査



今はコツを掴みスムーズに燃焼室内へ入れるよう勉強中です

損傷の有無等の状況をチェックして、継続して使用できるかを見極めます

燃焼装置(バーナー)の検査

ガスバーナーを検査しています

種類、大きさ等 多種多様なので、日々勉強です

特性に合わせて検査していきます



附属品の検査

整備業者によって分解された安全弁などのボイラーの附属品を、不備等がないか1つ1つ検査していきます

見落としがないか、先輩の指導員も目を配ります



検査実習 の様子

Inspection

自動制御装置の検査

検査は責任とプレッシャーのある仕事です
その分、やり甲斐も大きいです



異常の有無を確認しています

最終確認

わからないことや疑問等があれば、先輩指導員に確認します

指導員から改善点や良かった点などのフィードバックやアドバイスを受けます



指導検査員と最終確認をしています

検査終了 着替え

定期自主検査の記録等により日常の使用状況などを確認します



検査講評

今回のボイラーは事業者の管理が行き届いていて、非常に状態がよく、問題がないため検査は「合格」でした

検査において基準に適合しない部分を認めた場合、その結果に基づき、事業者に対して補修を求めなくてはなりません

安全な運転に有用ができるよう
運転方法等についての知識の習得に
勤めなければなりません

有効期間の更新「合格」

検査の結果により検査証の有効期間（継続して使用できる期間）の更新を行います

事業場の担当者へ検査証を手渡します
充実感を感じるときです



「合格」です 検査証を交付します

検査員 (技術職)

ある1日

Schedule

11:30 事業場退出

無事に検査の実習を終え、協会へ戻ります



昼食

12:00

新橋は、飲食店がたくさんあります

今回は、焼き肉ランチにしました

検査で体力を消耗したので、しっかりエネルギーを補給します

検査をやり遂げた充足感で、食も進みます



お昼ご飯の相談中



13:00

検査結果入力作業

午前中に検査した結果を入力し、報告書を作成します

撮影した写真なども取り込みます



カルビ定食♡



14:00

メールチェックや問合せの対応

全国にある都道府県検査事務所や顧客からの問合せにも対応します

わからないことは、先輩にアドバイスをもらいます



15:00

情報管理担当者の打ち合わせ

検査検定システムや基幹システムについて業者と月1の定例会議です



17:00

退社